

第二回千葉工業大学技術士会総会を終えて

第二回千葉工業大学技術士会総会報告

◆ 総会議事録

◆ 会員状況

専門特別講義について

リレーション あの人の人

事務局だより



津田沼キャンパスの新校舎構想図

第二回千葉工業大学技術士会総会を終えて



会長 溝邊 哲男

第二回千葉工業大学技術士会総会は猛暑の土曜日（7月7日）にもかかわらず総勢25名の会員、賛助会員のご参席を賜りまして無事終えることができました。これも、ひとえに、千葉工業大学当局、同窓会、そして会員、賛助会員の皆様のご支援の賜物と感謝申し上げます。

設立当初は94名の会員でした。この一年間退会される方もおられましたが、入会される方も多く今では会員数105名となりました。賛助会員も当初の1社から4社に増え千葉工業大学 技術士会にご支援いただいております。

総会に引き続き、本会の特別会員である中嶋秀朗准教授による特別講演とロボット研究室の見学会を開催し大変有意義な総会になりました。

総会後の懇親交流会には本岡学長、南教授（工大技術士会顧問）始め多くの先生方のご参席を賜り大変にぎやかで楽しいひと時を過ごす事ができましたことにお礼を申し上げます。設立以降の技術士会の活動と今年度の目標は概略次の通りです。

1 平成17年度、18年度の主な活動

- ・大学の「NEWS C I T」に13回に亘り技術士制度解説シリーズを掲載し広く在学生諸君に制度の内容を啓蒙した。
- ・卒業生向けにも「校友タイムス」に「技術士制度解説シリーズ」の縮小版を4回にわたり掲載した。

2. 委員会の設置

- ・企画・業務委員会（企画・業務）
- ・広報委員会（会報、技術士制度解説シリーズ、「校友タイムス」への寄稿、等）
- ・技術士試験支援委員会（在学生、卒業生の受験支援が主目的）

3 平成19年度の主な活動

- ・9月より千葉工業大学の在学生を対象として技術士か委員会を中心に15週（15回）に亘る技術士制度の内容を中核とした特別講義を計画中。
- ・大学の産官学融合センター活動にあわせてコーディネーター的な活動を計画。
- ・大学の研究成果の事業化への支援

千葉工業大学技術士会はまだまだ多くの課題を抱えております。今後、会員全員参加の下に、より有意義な活動をしていきたいと思っております。会員の全面的なご協力を心よりお願い申し上げます。

第二回千葉工業大学技術士会総会報告

平成19年7月7日（土）午後3時より、千葉工業大学津田沼キャンパスにおいて、千葉工業大学技術士会の第二回総会が行われました。

会員数105名、賛助会員4社のうち、出席者25名、委任状提出者40名の参加状況のなか約45分間に及ぶ熱心な議案の審議がなされました。

その後、当大学のロボティクス学科の中嶋秀朗准教授の特別講義、ロボティクス学科のロボット見学会が開催されました。

中嶋秀朗准教授の特別講義はロボット開発の現状とその活用範囲についての明快な考えが示され、今後のロボットの持つ存在そのものを考えさせられる内容で、とても興味深いものでした。

夕方5時過ぎより4号館地下の食堂にて、学長、教授を交えて盛大な懇親交流会が開催され技術士会の会員との親睦がなされました。



講義及び見学状況



『総会議事録』

第二回千葉工業大学技術士会総会議事録

日 時：平成19年7月7日(土) 15:00～15:45
場 所：千葉工業大学津田沼キャンパス 7号館7403教室
出席者：顧問 1名 会員 25名 委任状提出者40名
配布資料：
資料 No. 1 総会式次第
資料 No. 2 平成18年度(2006年度)事業(活動)報告書
資料 No. 3 平成18年度会計報告書
資料 No. 3-1 平成18年度(2006年度)収支決算書
資料 No. 3-2 平成18年度(2006年度)決算報告書
資料 No. 4 平成19年度活動計画書(案)
資料 No. 5 平成19年度予算書(案)
その他 千葉工業大学技術士会 会員名簿
千葉工業大学技術士会 会員状況
デジタル化*ジネアイ(新聞)
千葉工業大学技術士会 役員名簿



議事内容：

1. 開会宣言

司会者の久多羅木吉治氏(土木 S46 年)から開会宣言が行われた。



2. 千葉工業大学技術士会 会長挨拶

溝邊会長から、総会出席会員への御礼、及び平成18年度の主な活動についての報告があった。

3. 議長の選出及び議事録署名人の選出

議長選出にあたり、立候補者を募ったところ溝邊会長が適任との意見があり異議なく溝邊哲男氏が議長に選出された。次に議事録署名人の選出にうつり、立候補者を募ったところ事務局一任となり、山下幹夫氏(土木S44年)と豊岡昭博氏(土木S45年)が選出された。

4. 議事総会成立の確認

南澤事務局長より、出席者25名、委任状提出者40名、会員数105名、賛助会員4社との発表があり、千葉工大技術士会会則第17条により委任状を含めて2分の1以上の出席をもって総会の成立が確認された。

第1号議案 平成18年度事業(活動)報告の件

南澤事務局長より、事業活動についての説明があり審議の結果、異議なく承認された。

第2号議案 平成18年度収支決算・監査報告の件

南澤事務局長より平成18年度収支決算書について説明があり、監事中山浩氏より平成18年度貸借対照表の監査結果の報告があり審議の結果、異議なく承認された。

第3号議案 平成19年度事業(活動)計画の件

南澤事務局長より平成19年度事業活動について説明があり、審議の結果、異議なく承認された。

第4号議案 平成19年度収支計画の件

南澤事務局長より平成19年度収支計画について説明があり、審議の結果、異議なく承認された。

第5号議案 理事1名増員の件

溝邊会長より、児島雅範氏を理事に推薦すると共に副事務局長への就任に関する提案があり、審議の結果、異議なく承認された。

第6号議案 その他

溝邊会長より、千葉工業大学未来ロボティクス学科中嶋秀朗准教授の特別会員への入会及び略歴について説明があり審議の結果、異議なく承認された。

児島副事務局長より賛助会員出席者の紹介が行われた。


その他の意見、質問もなく設立総会の議案の審議は全て終了した。

5. 閉会宣言


副会長の粕谷太郎氏より閉会宣言があり、第二回総会は終了した。

議事録署名人

山下 幹夫 (土木 S44 年)

山下 幹夫  印

豊岡 昭博 (土木 S45 年)

豊岡 昭博  印

『会員状況』

[正会員]

住所（連絡先）

26	23	15	9	8	7	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	105名
東京 23区	千葉	神奈 川	北海 道	埼玉	東京 都下	宮城	静岡	大阪	佐賀	秋田	福島	栃木	茨城	山梨	長野	兵庫	山口	福岡	

卒業学科

60	16	10	5	4	4	3	1	1	1	105名
土木	電気	機械	建築	工業化学	金属	電子	工業経営	精密機械	工業 デザイン	

登録部門

58	8	1	11	1	11	4	4	2	1	2	1	1	105名
建設	建設 総合	建設・環 境、総合	電気 電子	電気電 子、総合	機械	経営	金属	上下 水道	上下水 道、総合	化学	衛生、 総合	航空 宇宙	

[賛助会員]

2	1	1	4社
千葉	東京23区	埼玉	

専門特別講義について

機械サイエンス学科の2、3年生に技術士会のメンバーが中心となって9月20日から1月17日までの15週間、毎週木曜日、7、8時限に特別講義が行われます。開講科目名は「**社会における技術士(補)の役割**」で以下の講義内容にて実施する予定です。

講義内容(案)

回	講義日	講義項目	講義内容	講師
1	9/20	ガイダンス	ガイダンス(講義の進め方)、日本における技術者資格制度について学習する。	南教授 溝邊(技術士 電気)
2	9/27	経験事例の紹介(1)	社会で活躍する先輩技術補(部門機械)による経験事例について学習する。	北村(技術士補 機械)
3	10/4	経験事例の紹介(2)	社会で活躍する先輩技術士(部門建設)による経験事例について学習する。	堀田(技術士 建設)
4	10/11	技術士一次試験の概要と演習	技術士一次試験の共通科目、専門科目の出題内容と傾向について解説するとともに、演習問題を出题する。	桶川(技術士補 機械)
5	10/18	演習I	技術士一次試験の共通科目、専門科目相当の演習レポートの提出。	佐々木(技術士 機械)
6	10/25	技術者の義務とプロジェクト・マネージメントの事例	技術者としての社会的義務、リスク管理、プロジェクトマネジメントにおける責務等について学習する。	中島(技術士 電気)
7	11/1	技術者倫理の事例検討	社会に対する技術者の責務と倫理について解説するとともに、技術者倫理が問われた事例を学習する。	小久保(技術士 建設 総合)
8	11/8	経済性管理	企業が行っている事業企画、生産計画について、技術者に要求される事項について、実践的立場で解説する。	小久保(技術士 建設 総合)
9	11/15	人的資源管理	技術者として基本的な組織形態と行動モデル、労務管理、労働条件等について学習する。	松野(技術士、建設)
10	11/29	情報管理	組織としての情報開示、説明責任や知的財産権、情報ネットワーク等について学習する。	黒澤(技術士、金属)
11	12/6	安全管理	組織のマネジメントに重要なリスク管理や危機管理、労働安全等に関する内容を事例に基づき学習する。	山口(技術士、建設)
12	12/13	社会環境管理	生産活動が外部環境に与える影響、それを低減する方策を学習するとともに、演習問題を出题する。	児島(技術士、建設)
13	12/20	演習II	技術士一次試験の適性科目相当の演習レポートの提出。	児島(技術士、建設)
14	1/10	国際規格と相互認証の動向	国際規格の解説と、技術者資格の国際相互認証について学習するとともに、講義全般の課題を出题する。	久多羅木(技術士、建設)
15	1/17	まとめ	課題に対するレポートの提出。	南教授 粕谷(技術士、建設)

リレーション あの人この人

岡田 真由子 建設部門 平成14年度卒

私は、平成14年度に千葉工業大学、工学研究科工業化学を専攻し卒業しました。その頃、私は技術士という資格を知らず、ましてどの試験や資格を受けたら良いか分からなかったものです。

まずは、私が受験するに至った過程をお話したいと思いません。

私は現在、水処理業界で働いております。水処理業界というのは、いわゆる下水処理業界です。就職活動の際は、その業界や会社のことを多少は調べるものですが、私は全く無知のままこの業界に就職してしまいました。

水処理とはいったい何なのか。会社に入っても、奥が深く分からないことだらけのこの業界に体当たりで仕事をし、現場に出ながら上司に質問をぶつける毎日でした。

就職して1年経った時、ある官公庁の現場にてお名刺を頂きました。そのお名刺に「技術士」という文字が書かれていました。そのお名刺を頂いた方は、私に親切にその現場の水処理の工程から、私が質問する内容に詳しくお答え下さり、とても勉強になったと同時に、ここまでスペシャリストになりたいと感じました。そしてこれが、私の受験するきっかけとなりました。

受験しようと決め、参考書を購入し過去の問題を解いていくことにしました。1問解いても分からないことばかりで、質問の中の選択肢の意味が分からないといった状況でした。しかし、その一つ一つを上司に質問したり調べたりとしているうちに、どんどん自分の頭の中でつながっていきました。また、勉強を重ねているうちに、学んだことが仕事の中で役立つ機会が増えてきました。

私は、この「技術士」という堅苦しい（私だけでしょうか）名前に圧倒されて、受験を控えている方が多数いらっしゃるのではないかと思います。中を見れば、とても親切な家庭教師のような感じです。一つ一つを丁寧に片付ければ、いつのまにか自分の理解となります。

技術士補を取得した今、これからが勉強の時と考えています。仕事の中で学び、技術士の勉強で再確認し、とても身になる経験をしていると実感しております。

どんなきっかけでも良いと思います。この記事を読んでくださって、ご興味を抱いたならば、是非書店へ出向いて見てください。ご自分の興味がある分野を、是非受験されてはいかがかと思えます。



影山 輝彰（かげやま てるあき）さん 建設部門 平成7年度卒

私は、平成7年に土木工学科を卒業した。平成18年度の技術士試験に合格し、晴れて技術士（建設部門）になった。

現在の仕事は、建設事業の情報化を推進する検討業務の管理技術者として、忙しい日々を過ごしている。

私が技術士取得を目指したのは、二十代の後半、会社の関係で、ある協会の委員として参加するようになってからだった。ここでは、各社の精鋭（私以外はそうだった）が委員として参加していた。日本を代表する大型プロジェクトの中核に携わった経験や建設業界における要領・基準の策定をしている方々など、通常ではお会いすることのできない人たちと交流することができた。その方々の多くは、当然のように技術士を取得していた。しかも、多い方では3部門以上で専門分野は+α……。さすがに、技術的な見識も当然さることながら、人間的にすばらしい方々ばかりだった。私も願わくはこのような方々に一歩でも近づきたいと考え、技術士を目指した。

では、「技術士試験には、誰でも合格できるのか？」の問いがあったとする。私の感覚からすると「技術士になる」動機の問題だと思っている。つまり「どうしても合格しなければならない」という強い動機がなければ合格できない。試験への道のりが苦しいだけに動機や自分自身に甘くては、いつまでたっても合格することはできない。ちなみに、写真はその動機のひとつである。家族である。技術士を目指す上では、同然の如く家族サービスができなくなり妻と子供が犠牲になる。



私は、現在「技術士」としては、技術者のスタート地点に立ったに過ぎないと考えている。技術士試験に合格することは、凄いことである。でもだからといって何かあるわけでもない。確かに会社から報奨金を頂いたが、ただそれだけのことだった。無論、技術士を持っていない優れた技術者も多くいる。そういった人たちよりも「できて当たり前」というのが技術士なのかもしれない。だから、技術士になってからは、技術士を目指していた頃より勉強している。もし、大学生の頃の自分に会うことができたなら、あまりの不勉強に尻を蹴り上げたいぐらいである。先日、縁あって第二回千葉工業大学技術士会総会に参加させて頂いた。そこでは、各業界でご活躍されている先輩から貴重な意見を拝聴することができた。そして、技術士とは、合格してからが本当の試練ではないかと感じている今日この頃である。

事務局だより

～ 会員の動静 ～

新規入会者

〔正会員〕

清水 隆男 (しみず たかお)	化学	工業化学 56 年卒	(株)シード
小久保 優 (こくぼ まさる)	建設、環境、総合	土木 52 年卒	小久保都市計画事務所
名古屋 義弘 (なごや よしひろ)	機械	機械 35 年卒	(株)新日本エンジニアリング
影山 輝彰 (かげやま てるあき)	建設	土木 H7 年卒	(財)日本建設情報総合センター

〔特別会員〕

中嶋 秀朗 (なかじま ひでろう)	機械	千葉工業大学工学部未来味 [®] テイクス学科 准教授
-------------------	----	--------------------------------------

〔賛助会員〕

三井住友建設(株)東関東支店 代表者 槻木 典勝

退会者

〔正会員〕

大熊 正信	建設、総合
鎗田 功	工業化学
武田 信之	機械

千葉工業大学技術士会 個人情報保護ポリシー

千葉工業大学技術士会（以降、本会という）は、業務上使用する会員原簿などの個人情報情報は「個人情報の保護に関する法律」に基づき厳正に管理維持します。

個人情報の利用目的は、本会の活動に限定するとともに、管理に当っては漏えい等の防止のための安全管理措置ならびに本人からの求めによる個人情報の開示・訂正・利用停止を行うものとします。

個人情報を本会の活動以外の利用目的で使用する場合は、本人の承諾を得た上で会長の承認を受けることにします。

本会の役員、会員は個人情報保護の重要性を認識し、個人情報保護のための取り組みを継続的に実施し、改善を図ります。

～ 事務局からのお知らせ ～

人材バンク登録のお知らせとお願い

前日も人材バンク登録（仮称）の計画についてお知らせしましたが、何とか今年度中には構想をまとめ会員の皆様に素案をつくり案内をお送りしたいと思います。

人材バンクへの登録内容は、技術士会がこれから活動を本格化していく上で、会員の皆様にお手伝いをしていただける以下内容に絞り登録することを考えています。

○技術士一次試験、二次試験の学生、院生、卒業生に対する受験指導支援への参加意思と参加可能時間

○大学の産官学連携の取組みに対する支援参加意思と参加可能時間

○会員相互、あるいは技術士会として技術情報提供サービスを行うにあたり、参加意思と参加可能時間 など

会費納入のお願い

私たちの技術士会の会員数は現在100名余りと小所帯です。まだまだ潜在して活躍されている卒業生はいるものと思います。会員の皆様のネットワークによる口コミを主力にした会員増強作戦を従来どおり展開していきませんが、当面の活動には皆様方の会費に頼るしか手立てがありません。何卒、母校のため、技術士会のため、活動に支障がきたさないよう会費納入についてご理解をお願いします。

賛助会員加入へのご協力のお願い

賛助会員の会費は一口1万円です。会員の企業、団体または個人で趣旨に賛同いただけるようでしたら、賛助会員の加入についてのご協力をお願いします。

会報投稿へのお願い

次の会報は6月に発行の予定です。事務局では会報の内容充実を図っていきますが、それには会員からの投稿による情報提供が欠かせません。ご協力よろしくをお願いします。

千葉工業大学技術士会 会員募集

会員の勧誘に個人情報保護の障壁もあり四苦八苦しています。今まで大学の『NEWS C I T』や同窓会の『校友タイムス』を通じ技術士制度解説シリーズを掲載し技術士会の活動を広報しておりますが、新入会員は頭打ちの状況です。唯一、会員の広いネットワークに頼るしか手立てがありません。お知り合いに技術士、技術士補の方がおりましたら、事務局までご一報ください。ご協力よろしくをお願いします。

(有) 新生エンジニアリング

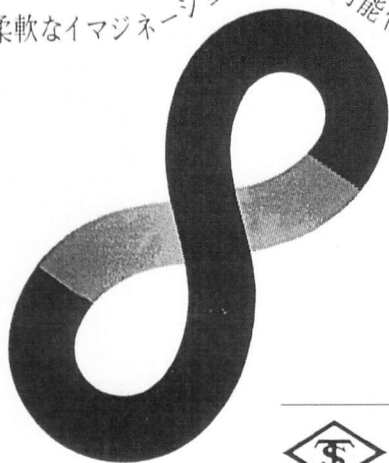
上下水道・一般土木設計

〒276-0045 千葉県八千代市大和田124-7

TEL 047-86-5250

代表取締役 相馬 寿昭

柔軟なイマジネーション、無限の可能性を秘めた伝統ある若い会社!



電力・通信分野のバイオニアとして90年

当社は明治42年の創業以来、豊かな経験と実績、そしてたゆまざる研鑽に努め、業界での地位を確固たるものにしてまいりました。

今後も伝統と若い力を結集し、技術開発に情熱を注ぎユーザーニーズに対応し、社会に貢献してまいります。

営業品目

- 送配電、通信用架線金物 ● 建築用金具 ● 電線共同溝用蓋枠
- 省力化用搬送装置設計、製作、施工 ● 溶融亜鉛めっき加工
- ISO 9001 LIACA-043 認証



佐藤鉄工株式会社

代表取締役 佐藤 邦夫
取締役社長 佐藤 昭

本社/〒105-0007 東京都中央区日本橋浜町3-36-2
松戸工場/〒270-2031 千葉県松戸市松台3-5-0

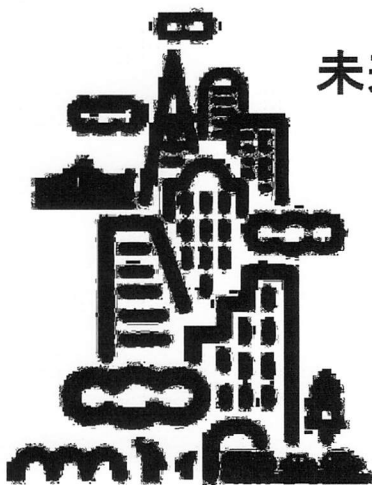
TEL 03-3662-0310 FAX 03-3662-0319
TEL 047-369-0511 FAX 047-362-6735

オリエント総業有限会社

〒357-0043 飯能市前ヶ貫252-42

TEL 042-973-0823

代表取締役 折目 哲哉



未来の都市は、地球に優しい。

これからも、いつまでも、カタチを伝えていきます。
技術の進化とは自然への帰化。私たちは、最先端の技術力を活かし、人々と地球を優しく結びつけるものと考えます。私たちが提案する都市は今まで以上に人間らしく、そしてあたたかい。
三井住友建設は未来を見つめています。



三井住友建設

<http://www.smcon.co.jp/>



CSRレポート
はこちらから



津田沼キャンパスの建築状況

千葉工業大学技術士会 会報第3号 平成19年9月15日発行

千葉工業大学技術士会 広報委員会

〒275-0016 千葉県習志野市津田沼2丁目17番1号 千葉工業大学内